

健康・生活科学委員会 家政学分科会 (第22期 15回) 議事要旨 公開用

日時： 平成26年5月9日(金) 13:00~17:00

場所： 日本学術会議5階 5-C会議室 (1)

出席者： 片山倫子委員、渋川祥子委員、小川宣子委員、工藤由貴子委員、多屋淑子委員、
塚原典子委員、沖田富美子委員

欠席者： 都築和代委員、

同席者： 日本学術会議事務局 井須氏

資料： 資料1. 第22期 第14回 家政学分科会 議事要旨(案)

資料2. はじめに 渋川

資料3. 第1章 家庭科教育の変遷 工藤

資料4. 戦後教育改革の流れ

資料5. 昭和22年教育基本法制定当時と現在の社会状況変化に関する各種データ

資料6. 小学校指導要領の変遷

資料7. 第1章-2 家庭科担当の教員養成制度の変遷 小川

資料8. 教育教職免許法による教科、教職に関する専門科目の最低習得単位の変遷

資料9. 第2章-1 現行の小・中・高等学校家庭科指導要領 都築

資料10. 第3章 現行の小・中・高等学校家庭科担当教諭養成制度 多屋

資料11. 教育免許状取得可能な大学、学部一覧表

資料12. 教育免許状取得にかかわる科目名一覧表

資料13. 第3章-2 我が国における家庭科教育担当教員の現状 塚原

資料14. 上記 調査結果 図表

資料15. 第4章 家庭科教員を養成するための提案 片山

資料16. 学部・専攻別関連科目履修率

資料17. 高等学校学習指導要領

資料18. 第2章-2 現大学生と「家庭科」教育とのかかわり 沖田

資料19. 科学研究費助成事業

議事内容

1. 前回分科会(14回) 議事要旨の承認 (資料1)

2. 記録「これからの暮らしに家政学が果たすべき役割

—家庭科教員養成の観点から—(仮題) の内容検討 (資料2~18)

資料にそって各担当者から説明後、内容の検討をおこない、重複箇所などを整理し、
構成案をあらたに作成する。次回まで各自指摘、意見を参考に修正、完成させる

3. その他

科学研究費の改定について、意見を小川まで提出する 資料19

以上

次回 家政学分科会 8月1日(金) AM11:00~17:00 於日本学術会議